

# FOMCを受けての日米株式・リート市場

## FOMC直後は米株・米リートとも上昇

2023年11月2日

### 米国株は今後の景気減速の度合いを見極める局面

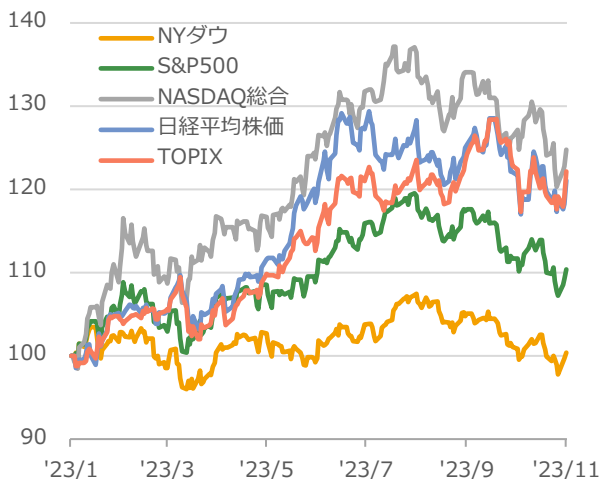
FRB（米国連邦準備制度理事会）は10月31日～11月1日（現地）に開催したFOMC（米国連邦公開市場委員会）で、政策金利であるFF（フェデラル・ファンド）金利の誘導目標レンジの据え置きを決定しました。政策金利の据え置きは、前回9月、今回と2回連続です。

1日の米国株式市場は上昇しました。FOMC声明文やパウエルFRB議長の記者会見を受けて、今後は金融引き締めが強まらず、時間をかけつつも緩んでいくとの見方が広がったことが、株価上昇要因になったようです。一方、これまでの利上げの影響で今後は景気減速も想定されます。株式市場では、景気減速がインフレ鈍化をもたらすものの、企業業績を悪化させるには至らない適度なものに留まるかどうかを見極める展開が、しばらく続きそうです。日本の株式市場は、国内景気の安定と日銀の金融緩和姿勢の継続が、引き続き株価上昇の支援材料となりそうです。

1日の米国リート市場は上昇しました。FOMCを受けて米国金利が低下したことが、米国リートの上昇要因になったようです。ただ、主要な米国リート指数の配当利回りと米10年国債利回りの水準は、ともに4%台後半でありあまり差はないことから、FRBの利下げへの転換が見込めるようになるまでは、利回り面での魅力には欠ける状況が続きそうです。一方、日本のリート市場は、日本の国債利回りが上昇してきたとはいえ、配当利回りにはまだ遠く及ばないため、引き続き投資対象として魅力度は高いといえそうです。

#### 日米主要株価指数

(2023年1月初～2023年11月1日)

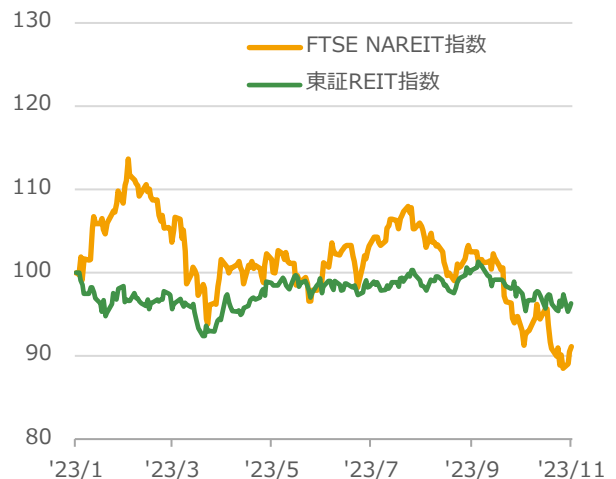


※起点を100として指数化

(出所) ブルームバーグ

#### 日米リート指数

(2023年1月初～2023年11月1日)



※起点を100として指数化

(出所) ブルームバーグ

#### 当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。